KIKO NETWORK 気候ネットワーク

2月16日は京都議定書の発効日



京都議定書大好き

これ、どういうこと？

I ♥ KP

京都議定書（KP）って。

CO2などを減らす世界の最初の約束。1997年にできた。
2008～12年に、先進国が5%の削減をすることを
義務付けたよ。

日本は、6%削減義務を約束した。
アメリカは、ブッシュ氏が不参加を決めちゃったけれど。



2012年。

最初の「第1約束期間」が終わる年。ひと区切り。

2013年からは、先進国はもっと高い目標を
約束する。

エネルギーをたくさん使ってきた豊かな先進国が
次はもっと頑張る。あたりまえのこと。

I ♥ KP

でもね。

日本は、京都議定書の義務はもうイヤだって拒否をした。
アメリカ・中国が入ってないからだって。

もちろん、アメリカ・中国もしっかりやらないと。

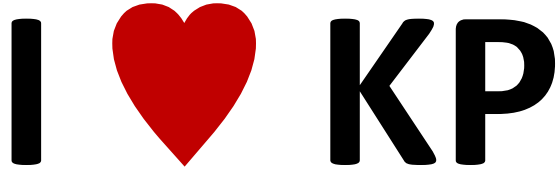
でも、「キミたちやらないから、ボクもやらない」って、
それでいいのかな。
京都議定書を作った国が、そこから逃げるんだ。

I ♥ KP

2℃。

2℃以上に地球の気温が上がらないよう、
世界はめざしてる。
でも、今のスピードは4℃上がるスピードらしい。

地球温暖化は、もう「待ったなし」。
なのに、アメリカや中国が入る世界のルールが始まるのは2020年だって。ずいぶん、おそい。



約束。

問題は、2020年まで、どうするかということ。

世界のルールが動くまで、
「自主的にやります」と言うのか、
「日本としての行動を約束します」と言うのか。

ポイントは、「約束」。

I ♥ KP

仲間。

約束しないと言った国は、アメリカ・カナダ・ロシア。
これらの国が日本の仲間。
温暖化対策への真剣さに疑問がもたれてる国々。

他の先進国は、京都議定書で「約束する」って。途上国に対しても、説得力がある。

I ♥ KP

つなぐ。

先進国の「約束」から、世界全体の「約束」につなぐ。
これは、今の京都議定書の重要な役割。

京都議定書を生かさなければ、
次の約束もつくれない。

これから始まる世界の「約束」への橋渡しだよ。

I ♥ KP

つなぐ。

日本でも、これまで京都議定書6%達成のために、
いろんな人や企業が努力してきたよ。
新しいアイディアやシステム、組織や技術も生まれた。

こうしたことを「つなぐ」ことも、大事ではないだろうか。

I ♥ KP

大事なKP

だから、気候変動を防ぐためには、KPは大事なんだ。
2つの意味でね。

一つ。先進国が、削減を“約束”して、気候を守る。

二つ。世界が、次の約束ごとをつくる、橋渡しをする。

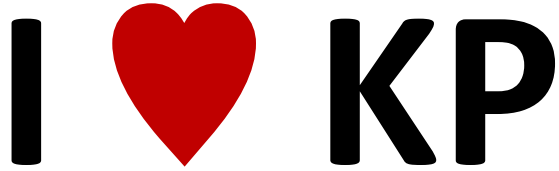


日本も、約束しよう

日本が、気候変動に真剣にとりくむ国なら、
京都議定書で、約束しよう。

日本は、これからもっと削減します。と。

貧しい国々のひとびとが、
気候変動で苦しむことが少しでもなくなるよう…。



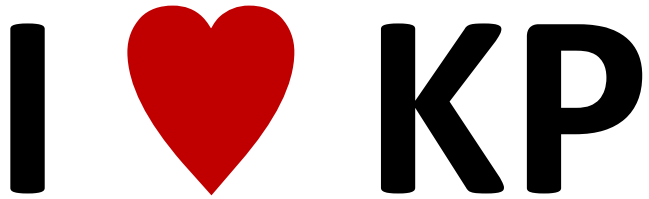
京都2に参加しよう

25%削減。日本の約束。
地球規模課題に責任ある国家として。
京都議定書第2約束期間に参加して、
世界で約束する。

日本はきっと、信頼を取り戻せる。

KIKO NETWORK 気候ネットワーク

2月16日は京都議定書の発効日



京都議定書大好き

つまりは、気候を守る、大事なツール

プレスリリース
http://www.kikonet.org/iken/kokusai/2012-02-13.html